

おおとしかわら版

Information

●「大歳様パネル」を大歳小学校へ寄贈

令和6年12月1日より、大歳小学校隣接地に放課後児童クラブの「さわやか第3学級」が新設され、活用が開始されました。

施設の規模も拡張され、2階建てになりました。

現在、第3学級には、今年度仮設校舎で過ごしておりました3~5年生の児童が入っています。

安心して児童たちが学びと遊びを楽しめる場として、さらなる発展が期待されています。



●2025年は、3年に1度の 民生児童委員 全国一斉改選の年です！

民生児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、地域の困っている人への支援や、関係機関へのつなぎ役などを担う非常勤の地方公務員です。

今年は、大歳地区の各エリアを担当する19人の民生児童委員と地区全体を担当する2人の主任児童委員が任期満了となり、再任の場合も含め、自治会から次期委員の候補者を推薦していただく予定です。

民生児童委員の活動に興味がある方、地域に貢献してみたい方は、大歳まちづくり協議会（☎083-920-1700）まで御連絡ください！

該当の自治会にお繋ぎさせていただきます。

民生児童委員のお世話になる可能性は、誰にでもあります。地域の社会福祉増進のため、あなた自身のため、御検討の程よろしくお願ひします！

まちづくりかわら版

おおとし

2025.1
Vol.91

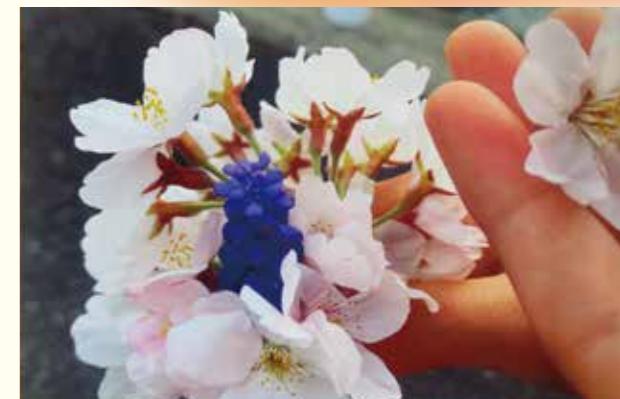
「力を込めて、ヨイショ～」

謹んで新春をお祝い申し上げます！

旧年中は大歳地区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。衷心より感謝申し上げます。

今年も、「みんなでつくろう、明るく住みよいおおとし！」のスローガンの下、まちづくり協議会役員一同、鋭意努力してまいりますので、より一層のご支援、ご協力の程、よろしくお願い致します。

大歳まちづくり協議会 会長 馬越帝介



「手の中に「春」」



「テゴイチ、夏の矢原を疾走！」



「来たよ、SL」



「萌し」

季節を楽しみ、人が交わる大歳に！



「絨毯の上で寝過ごした朝」



「あまくなあれ」

へび年にちなんで

へびは古来より豊穣や天候をつかさどる神として信仰されてきました。

また、脱皮をすることから

「復活と再生の象徴」としても扱われます。

2025年楽しい1年になりますように！



第8回(令和6年) おおとしフォトコンテスト 応募作品より

「大歳まつり」を開催しました！

11月3日(日)第48回大歳まつりを行いました。前日の雨により、大歳小学校で準備ができず、規模を縮小し大歳地域交流センターで行いました。

当日は晴天でしたので、たくさんの住民の方に参加していただきました。

ボランティアの方を始め、いつも運営にご協力



大歳の気になるお店

大好評！ お弁当と食事 すぎの子 つわぶき

今回は朝田の県流通センター会館内にあるお弁当と食堂のお店“つわぶき”を訪ねました。店長の宮崎さん夫婦が25年前から営業されており、メインのお弁当をたくさん作られて、近くの会社に配達しています。また、昼時のお店は、

店内で食事する人やお持ち帰りの人たちで賑わっています。メニューも豊富でガツツリ系から少なめ系など、バラエティーに富んでいます。

しかもお手頃価格!!

店内で食べられるお弁当が450円、おすすめの日替り定食は、から揚げやチキンなど5種類のおかずがついて750円、ごはんのふりかけも「わかめ」や「ゆかり」など選べて、その上コーヒーもつくなんて、至れり尽くせりのサービスです。

運動会やイベントのお弁当の予約も、1万円以上であれば配達可能です。県流通センターまで足をのばしてみませんか!!

お手軽弁当は「お弁当450円」に+味噌汁とコーヒーで620円になります



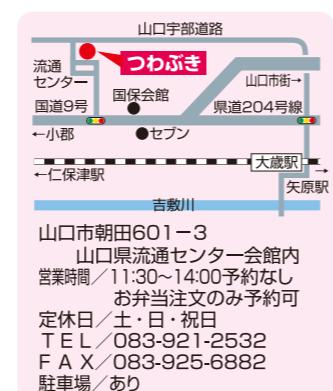
お手軽弁当
620円

日替り定食
750円

広い店内



豊富なメニュー



お手軽弁当は「お弁当450円」に+味噌汁とコーヒーで620円になります

1自治会1事業で自治会活動の活性化を！

1自治会1事業は大歳の独自事業として、自治会員の交流に役立ってきましたが、最近は実施する自治会が減少しています。ここでは自治会活動を活性化するために、2つの事例を紹介します。

「みんなでバス旅行」

矢原住宅自治会がこの補助金を利用した「3世代交流親睦旅行」を企画し、「海峡ゆめタワー～海響館～カモンワーフ」を訪れました。大人・小中学生・幼児を合わせて、合計37名の方が参加され、皆さん楽しんだとのことです。



生活に役立つ 無料講座のご紹介

河内・馬庭自治会で実施しました。(前号掲載)
県の「出前トーク」、市の「お気軽講座」が無料の講座として利用できます。事前にどのような話をしてほしいかを伝えておけば、講師がそれに見合った話をしてくれます。

まちづくり協議会では、毎年各自治会に上限3万円の補助を行っています。この補助金を利用して、ぜひ「1自治会1事業」を企画してみませんか？ 質問などあれば、遠慮なくお問い合わせください。

大歳まちづくり協議会☎920-1700

★おすすめ講座・お問い合わせ窓口

やまぐち県政出前トーク(132講座)
(県)総合企画部広報広聴課
(滝町1-1)☎933-2560
○歯・口腔の健康づくりの推進
○生活交通の利用促進
○やまぐちほろ酔い養殖 など

お気軽講座(73講座)

(市)教育委員会社会教育課
(中央5-14-22)☎934-2866
○ここが知りたい介護保険
○山口市立図書館のサービス等について
○男女の平等って何だろう など

写真で見る 大歳今昔

人気コーナー オリンピック選手も育てた 楢野川

大歳地区は、楢野川と吉敷川に育まれた地域であり、生活と古くから結びついていました。

時に、水害による脅威はありましたが、この川が生活に欠かせない要素であり、子ども達の遊び場でした。学校にプールがない時代は川で子ども達が水泳をしており、戦前には、そこからオリンピック選手(松村昶子さん)も生まれたほどです。



1960年代 楢野川での川遊びの様子



現在 秋穂渡瀬橋からのぞむ

そんな川との関係が変化したのは、高度成長期の1970年頃からです。その時期に川の環境が悪化し、また、子供たちの水難事故の危険性を考え、川での遊びが禁じられました。今では、川で遊ぶ子供たちをほとんど見かけなくなり、川との結びつきが無くなっています。

何故かコンクリートで補強された川に寂しさを感じています。

引用：写真集 山口・防府の今昔